

NPO通信

わたしが発信

「インドネシア教育振興会」が作った道徳・平和教育教材は、インドネシアの多くの小学校や、大学の教員養成授業で活用されている。教材は子どもたちの夢を叶える一助となる、重要な役割を担っている。

インドネシア教育振興会では二〇〇八年、あっても十分な教育がへの留学を実現した人ひろしま・祈りの石国受けられず将来への展の一人です。

国際教育交流財団からの望も開けないため、インドネシアの小学支援を受け、インドネシア語の道徳・平和教育教材を二千六百部と教師用指導書を千部作製、配布しました。

夢かなえる道徳教材

インドネシアは、社会格差の非常に大きな国です。また、日常的にわいろや横領が横行しています。このよう格差や不正は構造的で、個々人の力ではなかなか変えることができません。たまたま貧しい家庭に生まれた子

とはあまりありません。

このような現状の中、自分の夢に向かい努力する素晴らしさ、他人を思いやることや、今の社会を少しでも良い方向に変えることの大切さに気づいてもらおうと、道徳・平和教

とはあまりありません。教授のコマルツディン・ヒダヤット先生や同

とキリギリス」風のイ葛藤も取り上げました。この教材が、インドネシアの子どもたちに夢を与えるものになればと願います。(イン

育教材を作りました。また、インドネシア国立イスラム大学学長・国家教育省カリキュ

道徳授業や、大学の教員養成の授業で使われています。

インドネシア教育振興会

②



開発教材を使つ子供ら「インドネシア・バリ島の小学校で